

令和6・7年度 豊島区立豊成小学校 研究構想 図

学校教育目標

人権尊重の精神を心に刻み、地球規模で物事を考え、コミュニケーション能力を伸ばし、心身ともに強くたくましく生きる児童を育てる。

○(ほ)本気の学び ○(う)美しい心 ○(せ)世界に広がる ○(い)いっぱい夢

目指す学校像

教育目標の実現を図りつつ、児童にとって、教職員にとって「安心して成長できる学校」、そして、保護者および地域の方にとって通わせてよかった、あってよかったと思える学校づくりを目指す。

研究主題

協働的な学びの中で、児童がより主体的に学習に取り組むための授業づくり

～日々の授業改善を通して～

研究仮説

さらに児童が主体的に学習に取り組むための授業づくりを教師が実践していくことで、児童はより主体的に学び、自己解決力や思考力・表現力を身に付けるだろう。

目指す児童像

より主体的に学習に取り組み、夢中になって課題を自己解決していける児童

研究の手だて

OJTを活用した教員同士の授業改善／児童の主体性を引き出す授業づくり

- ・板書の工夫 ・ICTの活用 ・主体性を引き出す単元構成 ・導入の工夫 ・発問と適切な声かけ
- ・基本的な授業の流れの確立 ・児童のよさを認め伸ばす指導観 ・心理的安全性のある学級づくり
- ・お互いに授業を見合いながら改善していく意識

児童の実態

- ・素直に主体的に学習へ取り組める。
- ・課題解決力、表現力に課題が見られる。
- ・自己肯定感が低く、自信をもって活動できる児童が少ない。

教師の思い

- ・教師同士お互いの実践を知り、指導を改善していきたい。
- ・授業だけでなく、学校全体の取組で児童を育てていきたい。
- ・児童にとっても教師にとっても有益な「研究」にしたい。
- ・児童の課題をどう改善していくかではなく、良さをどのようにして伸ばすかという点に着目することで教師も楽しめる研究にしたい。